

マイナンバーカードを活用した デジタル身分証アプリの取組

令和 6 年 4 月 1 6 日
全国知事会会長・宮城県知事
村 井 嘉 浩

東日本大震災の教訓

情報発信

避難指示や避難所情報といった不可欠な情報を直接発信する手段が未確立

どこに逃げる？



避難所受付

紙での受付処理を行うことによる受付時間のロスや共有の遅れ、不正確さ

誰がどこにいる？



ニーズ把握

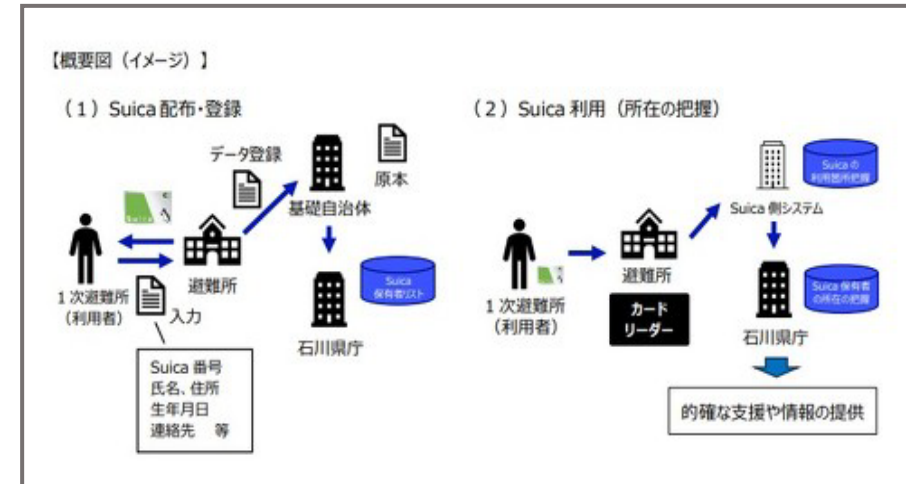
支援物資等、避難所にいる住民が何を求めているか、情報の収集・分析が不十分

何が必要？



能登半島地震でも同様の課題が…

- JR東日本からSuicaカード約1万8000枚とリーダー約350台の無償提供を受け、避難所の利用者にSuicaを配布。
- 名前や住所、連絡先などの情報をひも付けし、居場所や行動を把握する仕組みを導入。



ポケットサインとは(プラットフォーム事業者であるポケットサインのアプリ)



マイナンバーカードの基本4情報 (ユーザーID)

- ・公的個人認証サービスによって常時最新の情報が掲載
※英数字6～16桁の暗証番号(署名用電子証明書)による登録の場合

QRコードの読み取り

- ・施設等への入退出履歴の管理・活用

ミニアプリ

- ・マイナンバーカードによって身元がしっかりしたユーザーに多彩なサービスを提供

プッシュ通知

- ・電話番号、メールアドレスが分からなくても特定のユーザーにお知らせ可能

なぜマイナンバーカードを使用したデジタル身分証アプリ(=ポケットサイン)を使うのか？

① **本人確認**

マイナンバーカードのスキニングとPINコードの入力により、確実に本人であることを確認できる。

② **意思疎通**

電話番号やメールアドレスが分からなくても、プッシュ通知とアンケート機能で県と県民が意思疎通ができる。

③ **手軽さ**

スマホとマイナンバーカードを持っていれば、アプリインストール後、すぐにサービスを受けることができる。

また、マイナンバーカードを一度登録すると、ミニアプリと連携することができる。

④ **地域限定**

煩わしい手続きなしに地域を限定した施策（ポイントの付与など）ができる。

⑤ **将来性**

マイナンバーカードを健康保険証として利用できるが、近い将来、運転免許証と一つになれば多くの人がアプリを所持することが期待できる。

また、あらゆる災害において、県内全ての避難所等に対応できる。

防災面での活用～プッシュ通知 避難情報の発信など

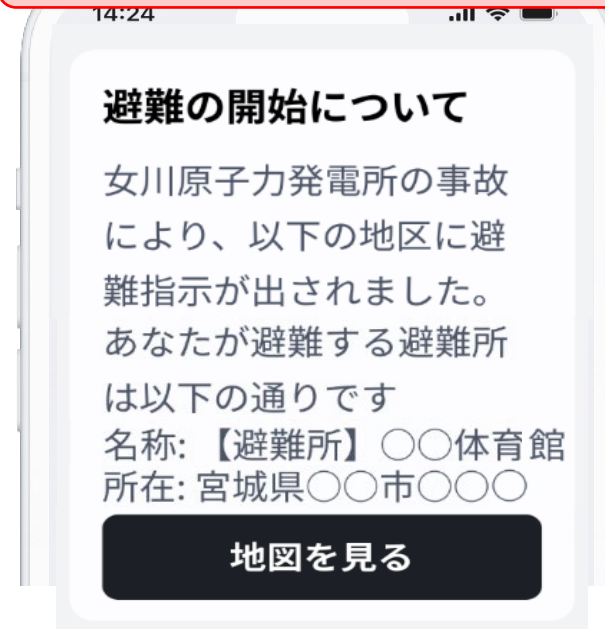
待ち受け画面に表示



タップして
詳細を確認



アプリの通知画面が起動



※画面は原子力防災分野の事例。

避難の必要が生じた場合や支援物資の配布状況など、必要な情報が通知される。

※登録されたマイナンバーカードの住所に基づいて、必要な情報を通知。

防災面での活用～プッシュ通知とQRコードの活用



“QRコード”の活用

チェックインへの活用

「読み取り」をタップ

“プッシュ通知”の活用

避難情報の発信

「メッセージ」をタップ

QRコードをアプリで読み取るだけで情報送信が可能に！！



① 同伴者を選択する！

② 完了ボタンを押す！

多くの方が同時にチェックイン可能であり**正確かつ混雑回避**にもつながる！



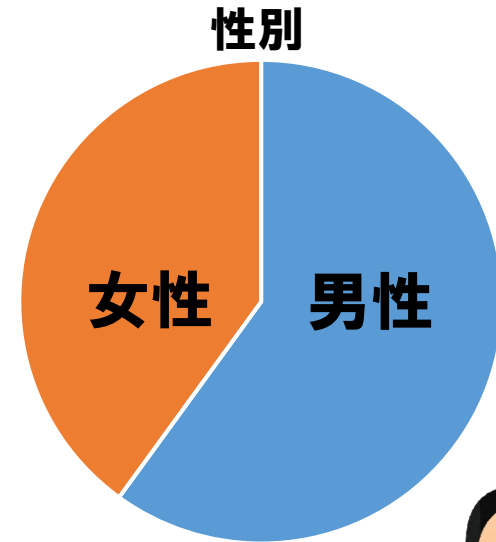
- ・カードリーダーの設置は不要
- ・家族など同伴者の登録も可能

防災面での活用～チェックインしたデータは自動的にデータベース化

避難者のデータベース(全体)

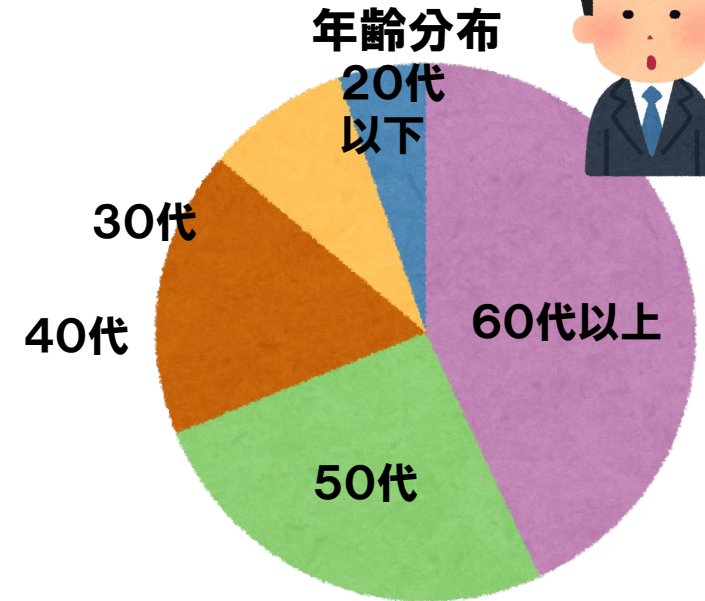
避難所	到着時刻	個人情報			
		氏名	住所	生年月日	性別
A避難所	〇〇:〇〇	〇〇	〇〇市〇〇〇〇	〇年〇月〇日	男
B避難所	〇〇:〇〇	〇〇	〇〇市〇〇〇〇	〇年〇月〇日	女
C避難所	〇〇:〇〇	〇〇	〇〇市〇〇〇〇	〇年〇月〇日	女
D避難所	〇〇:〇〇	〇〇	〇〇市〇〇〇〇	〇年〇月〇日	男
A避難所	〇〇:〇〇	〇〇	〇〇市〇〇〇〇	〇年〇月〇日	女

抽出



A避難所の避難者名簿

避難所	到着時刻	個人情報			
		氏名	住所	生年月日	性別
A避難所	〇〇:〇〇	〇〇	〇〇市〇〇〇〇	〇年〇月〇日	男
A避難所	〇〇:〇〇	〇〇	〇〇市〇〇〇〇	〇年〇月〇日	女
A避難所	〇〇:〇〇	〇〇	〇〇市〇〇〇〇	〇年〇月〇日	男



👉 避難所の属性に応じたプッシュ型支援が可能！

○フィルタ機能により、避難所毎に名簿を抽出可能。

○避難所毎の性別割合や年齢分布等を可視化することにより、必要な物資を搬送。

防災面での活用～避難状況等のきめ細かな把握



防災ミニアプリの機能を活用

✓避難状況把握(避難所以外も含む)

✓避難者情報の把握(アレルギー等)

などが可能に。

ミニアプリ「防災」 避難状況等のきめ細かな把握

指定避難所以外の安否登録機能



在宅避難者等への支援情報の提供も可能！

アレルギー情報の登録機能



食料品の発注の集計も容易に！

ミニアプリ「防災」 通信が途絶している場合

災害時、通信環境が悪化している状況でも利用可能
(オフラインモード)

①インターネットが不通の状況

➡ 避難者のスマートフォンに表示されるQRコードを避難所の管理者PCで読み取り、一時的に避難所の管理者PCに蓄積

②インターネットが復旧！

➡ ①で読み取った情報は、インターネット環境が復旧後に、まとめてサーバーに転送

防災面での活用～アンケートミニアプリによるニーズ把握



アンケートミニアプリを活用した
避難者ニーズの把握

- 避難者から必要物資聞き取り
- 必要な物資を必要な方に迅速かつ的確に提供

防災面での活用～避難者のニーズ把握や健康調査等の実施

例えば
災害発生時には

避難登録者限定で必要物資アンケートを定期的に実施

避難所におけるアンケート調査
(〇〇避難所)

避難所での生活をより快適にするため、お困りのことや不足している物資についてお聞かせください。

以下の情報を取得します
・あなたの氏名、年齢、性別、住所

質問9 必須
あなたが必要な物を選択してください。

- 飲料水
- 食料
- 毛布
- トイレットペーパー
- 乳児・小幼児用おむつ
- 乳児・小幼児用ミルク
- その他

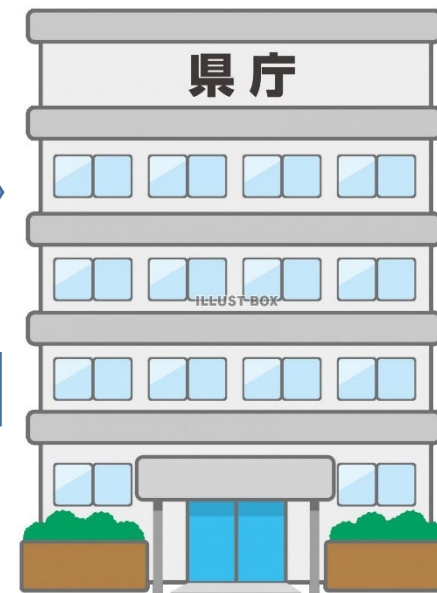
※避難者の健康状況の確認も可能



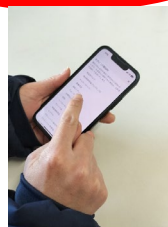
ミニアプリから必要物資の情報を送信



ニーズに基づく
支援物資の送付



実証実験の成功



令和6年1月に開催した「令和5年度原子力防災訓練」で実証実験を実施し、データ集計等が迅速に行われることを確認。今年度からの本格運用に期待!!

平時での活用～災害時以外にも普段使いできるアプリへ



【ミニアプリ例】

地域ポイント

- ・マイナンバーカードに登録されている住民情報に基づき、ポイント付与
- ・参加店舗で利用可能

平時に利用できる様々なサービスを
ミニアプリとして追加し、

万一の備えと日常の県民サービス向上をWで狙う！

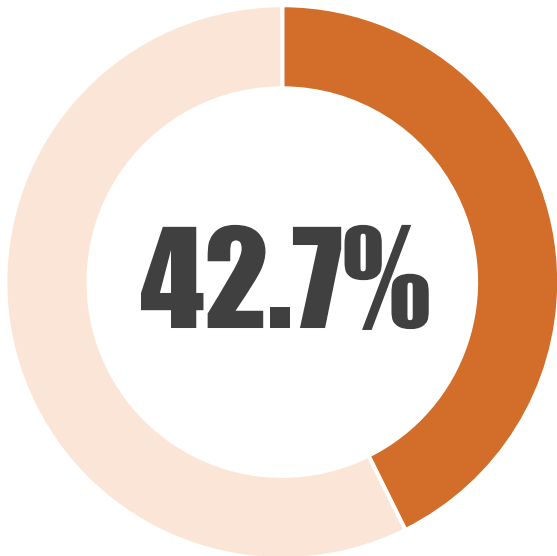
デジタル身分証のアプリ登録状況

ポケットサインアプリ：128,963人（R6.3.24現在）

※宮城県内に住所を有するユーザ数を計上。

女川原発周辺7市町における

ダウンロード率



女川原発から概ね半径30km圏内（PAZ・UPZ）

		ユーザ数	人口*
女川町	34.5%	（ 2,103人 /	6,094人）
石巻市	<u>44.0%</u>	（ 59,071人 /	134,163人）
登米市	<u>40.7%</u>	（ 29,351人 /	72,150人）
東松島市	<u>50.2%</u>	（ 19,087人 /	37,966人）
涌谷町	32.8%	（ 4,731人 /	14,437人）
美里町	34.7%	（ 7,979人 /	23,004人）
南三陸町	<u>47.4%</u>	（ 5,476人 /	11,545人）

*各市町の母数はR5.10推計人口

要望事項～在留カードとマイナンバーカードとの一体化

令和8年度までに予定されている
「在留カードとマイナンバーカードの一体化」について、
早期に実現していただきたい。

➡ **デジタル身分証アプリ**を活用した外国人材への効果的な情報発信や
行政等との双方向のコミュニケーションが可能に。

デジタル身分証アプリにより、

- ・県内に就労する外国人が**必要な情報(災害・避難、行政手続き、等)**を、**行政からプッシュ型**で受け取ることができる。
- ・日常生活の利便性を高め、外国人材が**安心して生活できる環境**を実現

